

令和4年3月1日

保護者の皆様

林崎小学校長 平野 貴義

令和3年度学校評価アンケート結果について

学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。95%以上の方から回答をいただきました。その結果について次のご報告いたします。なお、この結果は、本校教育の改善と充実を図るために活用させていただきます。また、保護者・児童アンケートの集計数値は、裏面に掲載しておりますので、ご覧ください。

1 アンケート集計結果より

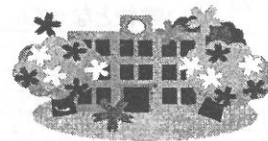
(1) 児童アンケート

成果

- ・質問番号①「先生は、毎日の授業を分かりやすく教えてくれる」で、98%以上が「分かりやすく教えてくれる」と回答しています。「わかる授業」をめざし、教職員が一丸となって取り組んだ成果だと考えます。
- ・③「…思い通りの点数が取れている」⑩「先生は…ほめてくれる」⑪「学校の一員として…」は昨年より回復しました。教職員全体で学習面・生活面をしっかりと支えていこうとした成果が表れてきたと考えています。
- ・⑫「事故にあわないよう、いつも気をつけている」⑫「避難訓練などは、真剣に取り組んでいる」⑬「いじめなどはどんな理由があってもいけないことだと思う」といった子ども達の命を守るために必要な姿勢を問う質問で95%以上の肯定的な回答が継続されています。引き続き100%をめざしていきます。
- ・⑮「授業中、人の話を集中して聞く」⑯「宿題をきちんとしている」で90%以上が肯定的な回答をしています。引き続き家庭の協力もいただきながら、子ども達の学習意欲を高めていきたいと思っておりますので、よろしくご協力いたします。

課題と対策

- ・④「進んで運動し、体力づくりをしている」⑭「地域の行事などに積極的に参加している」が昨年に比べて約3%下がりました。感染症拡大の影響もあるかと思いますが、年々下降しています。家庭との連携を進めながら、運動習慣や地域のふれあいが高められるように支援していきます。
- ・⑰「学校へ行くのが楽しい」が昨年より約4%否定的な回答が増えました。⑰「携帯電話やゲーム機を使って」も年々増えています。子ども達が「学校へ来たい」と思える魅力ある学校をつくれるよう教職員が一丸となって取り組んで参ります。本年度、できませんでしたPTA研修会などでもスマートフォンやゲーム機の正しい使い方について保護者の皆様にも啓発していきます。



(2) 保護者アンケート

成果

- ・①「子どもは学校の勉強に意欲的に取り組んでいる」が約7%、②「学校から、情報が

十分発信されている」が約8%、昨年より肯定的な回答が増えました。学校と家庭との連携が進められていると考えます。

- ・⑫「子どもはルールを守る意識が育っている」⑬「子どもは楽しんで学校に行っている」で、9割以上の方から肯定的な回答をいただきました。ルールを守る意識が育つと、集団生活が心地よいものになります。家庭や学校も含めた地域全体で子どもを見守れるように、今後ご協力をお願いいたします。
- ・⑭「子どもは、先生、友達、近所の人に進んであいさつしている」が約6%高くなりました。6年生のあいさつ運動だけでなく登下校の際に、ボランティアの方も積極的に声をかけてくださいます。あいさつの大切さを引き続き、学校や家庭で教えていけるようご協力をお願いいたします。
- ・⑮「早寝・早起き・朝ご飯」を守れている家庭が9割を超えました。家庭で最も大切な基本的な生活習慣です。継続していただき、子ども達が元気に学校生活を送れるように、ご支援をお願いいたします。

課題と対策

- ・⑯「子どもと社会や将来のことを話し合っている」で約3%肯定的な回答が少なくなっています。感染症拡大による将来への不安も影響しているものと思われます。学校では日々の消毒など感染対策を進めています。子ども達の不安が少しでも取り除けるようスクールカウンセラーとも協調して参ります。
- ・⑰「子どもは、学校のことをよく話してくれる」が減少傾向です。学校からもできる限り情報を発信して参りますので、家庭でのちょっとした会話を心がけていただきたいと思います。⑱「学校は保護者や地域の人々が行きやすい学校となっている」が高くないところにも関係があると思われます。感染症対策を進めつつ、開かれた学校づくりをめざします。
- ・⑲「子どもが携帯やゲームを長時間しないようにルールを決めている」では、調査開始以来、約3割の方が「あてはまらない」と回答されており改善が見られません。ご家庭での協力をお願いするとともに、携帯電話やゲーム機などの正しい使用の仕方や危険性について理解を深めていく研修会や情報の発信に努めて参ります。

2 学校関係者評価委員会での意見

- ・一人一台端末の導入が進んでいることは評価できる。一方でタブレットに頼りすぎる思考は脳の働きが活性化しないとも指摘されているため、機器を使う能力と並んで文字文化の良さも味わわせほしい。そのためにも図書館サポーター等とも連携し、文字から想像を広げられる児童の育成が望まれる。
- ・挨拶ができる児童が増えた。「いただきます」「ごちそうさま」といった挨拶は感謝の気持ちを育てるとともに生活リズムをよくする効果も期待されている。引き続き様々な場面で挨拶の大切さを指導してほしい。
- ・地域行事の減少や核家族化、バーチャル世界でのつながりなど人間関係が希薄になる要因が様々にある。このような時代だからこそ教師と子供がしっかりと温かみのある人間関係を築けるようなお一層、林崎小教職員が一丸となって取り組んで欲しい。

3 おわりに

本年度は、PTA授業参観がとれず運動会も人数制限を加えて実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大により様々な活動が自粛されました。厳しい一年ではありましたが、保護者の皆様からの評価は、昨年度より肯定的な回答がほとんどの項目で増えておりました。皆様の温かいご協力と深いご理解に感謝申し上げます。

本年度の反省をもとにさらに信頼される学校作りをめざし、教職員一同で、精一杯尽力いたします。引き続き、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。